

2020年7月7日

# 天の川で愛を叫ぶ

場所: FMひらかた・枚方ピオルネ 天気: 晴れ 日直: しーまん



新型コロナウイルスの流行によって、これまでの「当たり前」の大切さを痛感する日々を過ごしていました。

しかし、こんな未曾有の出来事の最中でも、人と人の気持ちの架け橋になる企画ができないかと考えました。そこで思い付いたのが『天の川で愛を叫ぶin交野ヶ原』です。

これは、七夕の日に思い通じ合う彦星と織姫よりアイデアを得た企画です。『普段言えない気持ちや感謝の気持ちを、オンライン上で伝えよう』と募集したところ、100名以上の方から大切な人へのメッセージ投稿をいただきました。これらを、交野のアーティストCharmant cocoさんの楽曲にのせて動画を作成し、ピオルネ1階のモニター画面で流していただきました。さらに劇団HALL JACKさんにメッセージを読み上げていただき、FMひらかたで放送していただきました。昨年のメッセージ動画はYoutube上で視聴可能です。皆様ぜひご覧ください。



2019年3月24日

# #天空の地上絵

場所: 岡東中央公園 天気: 晴れ 日直: momou



2019年(平成31年、令和元年)の3月24日、岡東中央公園(現・ニッパーク岡東中央)において、「#天空の地上絵@交野ヶ原」を開催しました。交野ヶ原に点在する史跡・名所や素晴らしい活動をされている方々を「星座を形成する星々」に見立てて「天空の地上絵」として公園内に表現する企画でした。

スタードームと呼ばれる竹製のドームを作成し夏の三角形(ヴェガ、アルタイル、デネブ)と北極星の位置に配置し、中央部を横断するように水を張ったパレットを並べることで天の川に見立てました。これは実際の天の川と各史跡の配置ともリンクしています。

昼はオープンスペースなくつるげ空間、夜にはライトアップを施した幻想的な空間を演出することで、日常と歴史が交錯し存在する交野ヶ原を表現しました。

青年部や若手の意見がふんだんに活かされたイベントとなり、夜遅くまで試行錯誤しながら表現方法を語り合った、思い出深いイベントとなりました。



2020年10月1日

# リモート観月の宴

場所: 百済寺跡 天気: 晴れ 日直: 「天の川七夕星まつりの会」事務局長



それは、突然だった! 当日、空模様を気にしながらも警備スタッフの予定で、百済寺跡へ...ところが、触った事もない高級ビデオカメラを駆使しての二元中継カメラマンを任された。

刻々とライブ本番が迫り、ディレクターからQが出た。交野山から、本当に綺麗な満月が昇って来た!なんとカメラで、捉えている。次は、待ちに待った涌谷町の満月!スイッチが切り換えられ上手く涌谷町ともライブで繋がった!ところが、叢雲で満月がよく見えない!と溜息をついた時に雲がサーッと晴れて、まさに満月が2画面に揃って、感動し、私の目が潤んだ。そこで気が緩んで、切替え時のタイミングを逸して、カメラに映り込んでしまった!

こんなハプニングもありながらも無事に終了し、皆で、大黒屋さんから御供えて頂いた月見団子をあてに贅沢にも吉向松月さんの酒器で、大門酒造のお酒を頂いた時、交野山の観音岩が少し微笑んだように見えたのは、私だけか!?



2019年7月7日

# 星の俳句コンテスト

場所: 星田妙見宮 天気: 強風 日直: まみすけ



星の伝承が多く残る「交野ヶ原」発の俳句コンテストとして2019年7月7日に星田妙見宮で開催されました。

星田妙見と星田神社の宮司で、弊プロジェクトの顧問でもある佐々木久裕氏が、俳人の夏石番矢先生(明治大学法学部教授)と懇意にされている関係から、俳句コンテストを開かないかとお声がけされ、このイベントが始まりました。

大阪だけではなく全国から、幼稚園児からお年寄りまで、1,000句あまりのご応募がありました。私は俳句というと敬遠対象でしたが、いざ取り組んでみると、日常のなんでもないことに心を留める事になり、毎日みずみずしい感覚があり驚きました。改めて皆さんの俳句を拝見すると、たった5,7,5の文字の中に深い感情や感謝の思いや悠久の時の流れや広大な広さ等、素晴らしい世界があることに感嘆しました。

第1回の星の俳句コンテストの審査員グランプリ賞に輝いたのは宮城県県の10歳の女の子でした。宮城県の小学校の校長先生は、表彰式に自費で駆けつけて下さり、私達も大いに感動しました。

今年は、海外から英語の俳句の応募もあります。皆様も是非ともトライしてみてください。



My another sky "KATANOGAHARA" 東淀川から牧野に幼少期に転居し、町の景色が毎日変わっていく高度成長時代を過ごした。人生の岐路に立った時いつか見た原風景が生きる勇気を与えてくれるかもしれない。そんなチカラを交野ヶ原は持っているように思う。多様性を受け入れつつしなやかにつながる街、それがボクの原風景・交野ヶ原です。

僕は集団生活をしているちょっと特殊な環境で生まれ育ちました。お経を唱えたり、托鉢をしたり。振り返れば妙な場所、でも僕にとっては大切な故郷です。僕には息子が三人いますが、彼らの故郷は枚方。「俺の故郷はこんな街」と、いつか誰かに誇れるような、そんな枚方にしていければと思っています。



# PJメンバーの交野ヶ原

かたのがはら



活動5年目を迎えた節目として、天の川・交野ヶ原日本遺産プロジェクトメンバーの思う「交野ヶ原」を思い思いに表しました。

「交野ヶ原」の言葉は小学校歌で馴染んでいたが、校歌以外は特に触れる機会もなく過ごしてきた。このプロジェクトに入って以来、「交野ヶ原」の歴史・文化の奥深さを意識しない日はない。先人の遙かなる足跡を道標に、ピースをはめていくこのわくわく感を、プロジェクトの仲間と共に広げていきたい。

子どもと盆踊りの伝承活動をしていた中ご縁があり、「交野ヶ原」と出会いました。そして人と人の繋がりが見えてきて「天空の地上絵」。点と点を結び形にしていけるのが面白いです。仲間は年齢層が幅広く色々なアイデアが飛び交います。今後も誰かの心に残るような活動をしていきたいと思っています。



19年ほど前、枚方に残る郷土芸能が、河内音頭の一番古い節であることを聞きました。幼い頃お祭りで踊っていた盆踊りの河内音頭が枚方発祥と言う説があることを知り、友人と調べることにしました。

その郷土芸能は「交野節」という名前でした。しかし、枚方に伝わる郷土芸能が何故か「交野」。疑問を持ち、交野節を歌われていた方や音頭研究をされている先生ともお話したり、枚方と交野の市役所にも足繁く通ったりしました。その中で昔、枚方市の大半と交野市は全域が「交野郡」だったことを知りました。

今の行政区にとられていた故に、昔の方が守り繋げてこられた民衆文化を調べることが難航していたことにハッとしました。さらに調べていく中で交野ヶ原に残る様々な伝承や「天空の地上絵」といえるストーリーに出会いました。そのストーリーは、とてもロマンチックな、昔の人々の息づかいが感じられるものでした。

この土地に住んでいた人の描いた地上絵をこれから我々一人ひとりが、次世代へ、星となりつないで行こうという志をもったこのプロジェクトに参加できましたこと感謝しています。

歴史は生きているもの。これからも色々勉強させて頂きます。



入会の契機 私は、七夕に興味があって「天の川七夕星まつりの会」に入会した訳ではない。単にボランティアとして地域社会に関わりたくて、入会した。結果、交野ヶ原に埋もれていた歴史、伝統、文化を知る事で、歴史好きに火がついた!それ以降「いっちょかみ」として当プロジェクト他、多くの団体の席を汚している。今後も「天空の地上絵」という史実と浪漫溢れる大風呂敷を上げた幹事の一人として、この街を無縁社会から有縁の幸せの街へ寄与したい!

# 巻頭言注釈ページ

- ① 河内(かわち) 現在の大阪府東部一帯を指す。7世紀ごろ、明治時代まで続いた行政区分。河内国。東側を生駒・金剛山系、南北を淀川・大和川に囲まれた事から「川の内の国」の名がついた。
- ② 交野ヶ原(かたのがはら) 交野ヶ原とは大阪府枚方市、交野市一帯の丘陵地の呼び名。星田や天津橋など、星や七夕を連想させるに地名が多く、天の川を中心に星の位置と神社の史跡の位置が一致する。
- ③ 上手に思い出す 文芸評論家、小林秀雄の「歴史とは上手に思い出すことである」をサンプリングした言葉。上手の意義は、「同氏が「伝統」に求める「努力と自覚」に近いもので、過去と真摯に向き合い、未来を切り開く勇気をここでは指している。
- ④ 日本遺産 文化庁が認定する地域の歴史的経緯や受け継がれている伝承・風習を通じて語られるストーリーのこと。有形・無形の文化財関わらず、国内外に発信することで地域活性化を目的としている。
- ⑤ みちのくGOLD浪漫 奈良時代に日本で初めて、金が産出されたのは陸奥国「みちのく」(現在の岩手県や宮城県)。東大寺の大仏などの文化や信仰、産業へ昇華した、金と人々の縁は、みちのくGOLDと名付けられ、69番目のストーリーとして日本遺産に認定されている。



あんなことこんなことあったよね

# イベント ダイジェスト



この5年間で主催したイベントをダイジェストで振り返っていくモ〜!



## 2018年3月21日

### 交野ヶ原フェスタ321

場所：岡東中央公園 天気：強風 日直：ゆかりん



このイベントはプロジェクトの中でも類を見ないものでした。まず、かわってくださった人数。学生、お店、出演者、とてたくさんの方々が志を同じく協力してくださいました。そして天候…

3月20日、岡東中央公園、大雨。学生ボランティア、当プロジェクト青年部、役員、カップパでずぶぬれになりながらテントを立て、明日のはれを信じてみんなで力を合わせて準備を行った。当日は明け方から大雨。風も強く開催するべきか実行委員長・幹事みんなが悩み、検討した結果「行おう」と決定。朝の準備から雨は止まず…。10時。中野委員長のあいさつ後、なんと雨が…やみました。イベントは予想外の来場者数に売り切れする店舗ができました。ところが昼過ぎから枚方市観測史上トップ10に入るほどの風が吹き始め、テントにぶら下がって飛ばないようにしたり、中には飛んでしまったテントがあったり、春のいたずらか誠に不思議な、大変なイベントでした。終了後、これがきっかけで若いメンバーも結束。枚方まつりのかき氷の出店パワーのきっかけとなりました。

## 2018年11月3日

### 楠葉台場de盆踊り

場所：楠葉台場 天気：晴れ 日直：マモ



2018年は明治政府樹立150年目にあたり、枚方には明治維新のターニングポイントとも言えるべき史跡「楠葉台場跡」があることから、「楠葉台場跡」で明治150年を記念するイベントをして全国に向けて発信しよう!とこの企画がスタートしました。

しかし、いきなり大きな壁にぶつかりました。「国指定史跡楠葉台場跡」は史跡公園としての整備がされておらず、イベント会場として使用した前例がなかったため、場所の使用許可がなかなか下りなかったのです。この年の6月に大阪北部地震が起こり、市役所も震災対応でそれどころではなく、やっと手続きが進みだしたのは秋口になってからでした。前例がないため、今回は特別措置として、「くずは地域3ヶ所同時開催の1会場として」「明治150年の今年限り」という制限のもと、ようやく楠葉台場の使用許可が下りました。

楠葉台場付近は、幕末、鳥羽伏見の戦いにおいて、維新志士や新選組をはじめとする佐幕派が死闘を繰り広げた土地です。立場は違えど日本を守るために戦った志士達へ捧げる慰霊と感謝の盆踊りを行いました。福島県(会津)や鹿児島県(薩摩)の県事務所に物産の出店もしていただきました。



## 2016年7月2日

### 交野ヶ原フェスタ

場所：岡東中央公園 天気：晴れ 日直：研大兄



「キックオフ」のサブタイトル通り、まさに当プロジェクトの初事業でした。星田妙見宮の創建1200年に合わせて、色々な動きを前年からしていましたが、実質動き出したのは4月から。メンバーもノウハウがない中、定例会、役所・出演・出展団体との調整、協賛依頼など、私欲なく東奔西走した結果、色々な縁が紡がれていきました。

例えば、ご協賛いただいた日本ペイントオートモーティブコーティングスさんは、「本社のある枚方市に貢献したい」と仰っておられ、私たちが市の担当者にそのことを伝えました。すると、2年後、枚方市初のネーミングライツに手を挙げて、この時の会場だった公園の名前はニッパーク岡東中央となりました。初事業で猛省すべき点も多くありましたが、それらは全て、以降のイベントに生かされています。「小さなことを積み重ねることが、とんでもないところへ行くただ一つの道」はイチローの言葉ですが、イベントを開催するにあたり生まれる多くの縁がまさにその小さいことなのだろうなと思います。

小学校から家に帰った時の「あー家やー。落ち着く。」という感覚。高校・大学・社会人になるにつれて更に感じるようになった「あー枚方市駅ついたー落ち着くー。」という感覚。また、枚方出身メンバーが集まった時に花咲く、懐かしさと郷愁の地元トーク。交野ヶ原は、学校や会社にいる枝や葉っぱの「私」ではなく、根っこの『私』に戻してくれる大切な場所です。



交野ヶ原と聞いてまず思った事は、「なんだそれ? 交野じゃなくて?」ってことです。義務教育を地元枚方市の小中学校で受けてきた私ですが、正直なんのことも全くわかりませんでした。しかし、実は貴族の丘陵地であったことや、各地に星に因んだ言い伝えがあり、現在と過去と未来、天空と地上、人と人を結ぶ場所という事を知り一気に魅力的な言葉へと変わりました。今では横の世代にこの魅力を少しでも共感してもらいたい!という思いが強いのです!



僕が生まれ、育って、過ごしている町が交野ヶ原です。鬼ごっこをした公園、近道のための細い路地、よく買い物をした駄菓子屋。今まで知らなかった街に隠された天空のストーリー、貴重な史跡や古墳、綺麗な夜景。無くなったものもあるけれど、全てが僕の交野ヶ原です。これから更に魅力を発見・発信したいです!



私は、地元の伝統文化「河内音頭」を守っていきたく活動している盆踊りチームに子どもの頃から入っています。最初はただ踊ることが楽しいという思いで加入し、活動していましたが、地元愛溢れるチームの下で学びながら活動を続けていく中で、私自身も地元文化の魅力を感じるようになり、生まれ育った枚方を好きになっていきました。チームと日本遺産PJとのご縁がきっかけとなり、私もメンバーと一緒にこの活動に携わらせていただいています。日本遺産PJでは「天空の地上絵」や「百済王氏の物語」など、今まで知らなかったのなかつたロマンある交野ヶ原の歴史に触れる中で、さらに地元の魅力を感じるようになりました。これからも勉強させていただきながら、私自身もチームやPJの一員として、そして交野ヶ原に住む一人として、地元の魅力を発信していきたいと思っています。



私にとっては交野ヶ原は活動をしていなければ知りもしないただの地名でした。ですが、活動に参加して自分の住んでいる街に素晴らしい歴史があることを知り、守っていかねばならないものだと思います。



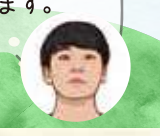
私にとって交野ヶ原は「古くて新しいもの」。歴史や伝承は昔のことだけど、知れば知るほど新しい発見がある。これを先人は「温故知新」という言葉で表したらしい。新しいものを追い求めすぎる時代に、史跡を巡ることや先人の話を聞くことを通じて、時代を遡ってタイムマシンみたいで最高。26歳男性より。



枚方で生まれ育った身ですが、若い頃は他地域の人に誇れるモノは「ひらかたパーク」のみ…。そんな自分の無知を何とかしたいと歴史を紐解いたことから今に続きます。知れば知るほど誇れる魅力をたくさん秘めているこの交野ヶ原。そんな秘められたストーリーを広く伝えていきたいと思っています。



「交野ヶ原」。枚方市、交野市。近世の行政区分に馴染んだ私にとって、違和感でしかなかった。でも、太古からここで暮らしてきた人々や風土に思いを馳せる。その長い時空の流れの一部としての私を感じた時、今ここに在ることの有難さに気づかされた。忙しい現代。一時この地を訪れてほしい。「交野ヶ原」には、人生に行き暮れ悩む人々を受け止め、温めてきた歴史の深さがある。潜在的に人が持つ再生の力を引き出す力。歴史から紡ぎ出されるロマンは希望となり明日への推進力となる。ここで出会った私たちは百年後の子どもたちに何を残すのだろうか。「艱難汝を玉にす」私たちは、常に歴史のクロスロードの真ん中に立っている。



僕にとっての交野ヶ原とは、枚方市・交野市ともに故郷であると思っています。枚方では中学生まで住んで、今現在は交野に住んでいます。枚方だけではなく、交野も入れて両方の市が一つになって交野ヶ原! この交野ヶ原にある数多くのストーリーを発信して、もっと僕たちの住んでいる故郷、交野ヶ原を知ってほしいと思っています。

- ⑥ 桓武天皇(かんむてんのう) 737年に、光仁天皇の第一皇子として生まれた。生母は百済系渡来人の血を引く。781年に桓武天皇は50代目の天皇として即位。即位後は長岡京・平安京と2度の遷都を行い、坂上田村麻呂に命じ蝦夷討伐を行った。
- ⑦ 大仏の輝き 奈良時代、国家安寧を願った東大寺大仏の完成にあたり、黄金不足に聖武天皇は頭を悩ませていた。しかし、百済王敬福が陸奥国にて黄金を発掘し、朝廷に900両を献上することで、無事に大仏建立に至った。
- ⑧ 千年の都 794年から1868年まで、天皇の御在所あり日本の都であり続けた京都の別名。平安神宮に祀られ、現代京都で最も慕われている天皇の一人である、桓武天皇は京都へ遷都する際、交野ヶ原で郊祀を行った。
- ⑨ 郊祀(こうし) 古代中国において、天子が都の郊外で昊天上帝(天神)を祀る儀式。日本では、延暦4年(785年)に初めて桓武天皇が中国式の郊祀を行ったと『続日本紀』にあり、その場所は、長岡京の南にある「交野柏原」と記されている。
- ⑩ 天空の地上絵 枚方市・交野市は、星にまつわる伝承が多く残る。全国でも稀有な土地であり、その伝承は神話時代から都市伝説まで多岐にわたる。当プロジェクトでは、交野ヶ原の史跡や伝承と、そこに生きる人々も、過去から未来へと輝き伝わっていく星と見立て、点在するそれらを「天空の地上絵」というストーリーとして、ゆくゆくは日本遺産に登録されることを目指している。



# 天の川・交野ヶ原日本遺産プロジェクト

## 5年間のあゆみ

2015  
平成27年  
2016年7月の星田妙見宮創建千二百年奉祝祭に向け「天の川・交野ヶ原日本遺産プロジェクト実行委員会」の前身である「交野ヶ原1200年プロジェクト実行委員会」が立ち上がる

2016  
平成28年

4月  
「天の川・交野ヶ原日本遺産プロジェクト実行委員会」結成

7月  
天空の地上絵を日本遺産へ！キックオフセレモニー交野ヶ原フェスタ

8月  
枚方まつり出店オリジナルかき氷

9月  
交野ヶ原物語vol.1発行

11月  
JAZZストリート出店菊花酒恋みくじ

12月  
ワールドカフェ開催

プロジェクト結成から現在までのあゆみを年表形式でまとめた。星型の枠は今までプロジェクトが主催したイベントと、青年部が中心となって企画開発した部が中心となって企画開発した交野ヶ原オリジナル商品です。交野ヶ原オリジナル商品です。交野ヶ原オリジナル商品です。後半ページに詳細が掲載されていますのでぜひご覧ください！



1月  
天の川とんどまつり出店  
交野ヶ原のお味噌汁

1月  
枚方市長・交野市長へ要望書提出

3月  
天空の地上絵ツアーアルタイル地点探索など

2017  
平成29年

3月  
環境フェスタinかたの日本遺産プロジェクトPRブース出店

7月  
神宮寺ぶどうコラボスイーツ

8月  
枚方まつり出店オリジナルかき氷

11月  
JAZZストリート日本遺産プロジェクトPRブース出店

11月  
くずはasaiku日本遺産プロジェクトPRブース出店

12月  
交野ヶ原物語vol.2発行

1月  
天の川とんどまつり出店  
かたのルビーじゃがバター

2月  
交野ヶ原物語vol.2  
機関紙コンクール受賞(サークル・同好会部門最優秀賞)

3月  
交野ヶ原物語vol.3発行

3月  
交野ヶ原フェスタ3・2・1

2018  
平成30年

6月  
交野ヶ原物語vol.4発行

8月  
セタルネッサンス出店

9月  
NPOフェスタ七夕歴史講演会

10月  
交野ヶ原物語vol.5発行

11月  
くずはていものみつけ!!  
楠葉台場de盆踊り

1月  
天の川とんどまつりに出店

2月  
交野ヶ原物語vol.5  
機関紙コンクール受賞(サークル・同好会部門アイデア賞)

3月  
#天空の地上絵@交野ヶ原

5月  
交野ヶ原物語vol.6発行

7月  
第1回星の俳句コンテスト

2019  
平成31年

令和元年

8月  
枚方まつり出店オリジナルかき氷

9月  
交野ヶ原物語vol.7発行

11月  
交野ヶ原物語vol.8発行

1月  
事務局長涌谷町訪問



1月  
枚方市へ日本遺産追加認定取り組みへの要望書提出



2月  
交野ヶ原物語vol.8  
機関紙コンクール受賞(サークル・同好会部門最優秀賞)

3月  
「ひらいろ」広告掲載

4月  
交野ヶ原物語vol.Q発行

4月  
コロナに負けない!  
#ジモトバトン発信

7月  
オンライン七夕企画  
天の川で愛を叫ぶ

2020  
令和2年

10月  
Remote観月の宴@交野ヶ原

2021  
令和3年

